



「子どもがまんなか」どの子も「ありのままの自分」で
いられるために…。自分の子育て・子育て情報誌記者の
経験、松本市子どもの権利条例検討委員を経て、
神津ゆかりが大切にしていること

不登校の子どもの数、発達障がいの子どもの数が急増しています。学校に行かない。行かれない。居場所が無い。学校から逃げ出したい…。子どもたちの悲鳴が聞こえてきます。もしも学校が楽しい場所なら不登校はなくなるのでしょうか? 「学校以外にも居場所がほしい。」お子さんが不登校だという保護者の方から多くの意見をいただきました。

松本市は、**長野県下唯一、子どもの権利条例があるまち**です。条例の前文には、「子どもは、障がい、国籍、性別などにかかわらず、また、貧困、病気、不登校など、どんな困難な状況にあっても、尊い存在として大切にされます。」とあります。これは松本の子どもたちへの約束です。全ての子どもに「ありのままでもいいんだよ」と伝え、彼らの人生を全力で応援する取り組みが必要です。

神津ゆかりはこれからも、「**自己責任押しつけ社会から、人にやさしい社会への転換**」「**お金のかからない教育**」を掲げて活動してまいります!

#女性の声が政治を変える **神津ゆかり**

学校の チェック 活動

給食の「残食チェック」、靴を左右きちんと並べてあるか「下足箱チェック」。子どもをチェックし、競わせるこれら「チェック活動」が子どもたちに息苦しさを与えています。子どもに寄り添い、学びを深めていくために必要なことでしょうか。チェック活動は、見直すべきです。

子どもの サード プレイス

子どもが行きたい時に利用できる、毎日、朝から開いている、家と教室以外の第三の居場所が必要。学校にフリースクール(的な居場所)を作れば、徒歩で通えるし、学びの機会も提供できる。校外の居場所としては、4ヵ所目の中間教室が新設予定(寿中)ですが、子どものよき相談相手、遊び相手になれる、お兄さんお姉さんのようなスタッフ等の人員補充や、お昼に給食が食べられるといった機能充実が必須。図書館や公民館を子どもに開放し、オンライン授業やICT学習のためのフリーWi-Fiの整備、お弁当が食べられる飲食コーナーの設置を。

学校 給食

市内の小中学校で、約1万8千人の子どもが毎日給食を食べています。給食は教育。少子化だからこそ、大量調理の大規模センターから、調理に手間を掛けられ、おいしい給食を提供できる小規模施設に転換を。「学校で一番楽しみは給食の時間」! **松本市の給食センター再整備方針の見直しと給食費の無料化を求めます!**

新リーフレット・公式LINE

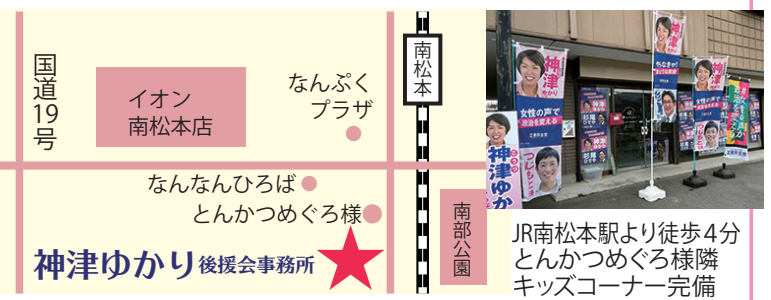
新しいリーフレットと、公式LINEができました。リーフレットには神津の思いがギュッと詰まっています。LINE登録はこちらから↓



ボランティアさん登録もこちらから!



後援会事務所(南松本)のご案内



- 開所時間 10時~17時(毎日)
- 市政・困りごと・モヤモヤ…おしゃべり会・絵本の読み聞かせ会 随時開催!

応援メッセージをいただきました!

「神津さんは松本市議会です唯一の立憲民主党の議員です! 市民の皆さまの声に耳を傾け、県政、国政と連携しながら、**もっといい未来**を作っていきましょう!」



杉尾 秀哉 参議院議員
長野県選出・立憲民主党



下条 みつ 衆議院議員
長野2区選出・立憲民主党

私たちも応援しています♪



ゆかりさんは、市民との垣根が全くない市議員。わたしたち普通のお母さん達の政治に対するモヤモヤや暮らしの中の困りごとを、行政にしっかり届けてくれています。でも、何よりすごいのは市議員に当選する前からゆかりさんは同じことをしてたってこと!!!それが、議員になってパワーアップしただけなんです。ずっと変わらず、頼りになる人。信頼しています!
松本市横田 堀金和美さん

松本市議会議員 神津ゆかり 1期目 松原在住 **立憲民主党**

松本市議会経済文教副委員長・立憲民主党長野県連合ジェンダー平等推進本部長

■経歴 1966年生まれ。青山学院女子短大・米國ウエスタンミンガン大卒。商社、PR会社、子育て情報誌を経て自営業。家族は夫(獣医師)、犬、猫。1人息子は東京で大学生。2019年~松本市議会議員。初当選以来、全ての定例会で一般質問に立つ。SDGs、食と農と環境のまちづくり、子どもの権利条例、動物行政等、幅広いテーマで県内外の議員と超党派で活動。明善小学校読み聞かせボランティア。CAPスペシャリスト。

■事務所 松本市芳野 1-5 下島ビル1階 TEL・FAX 0263(87)5876



公式HP

神津 ゆかり 検索

